

10月27日-11月2日

[伝道の書 11-12 章](#)

[155 番の歌](#)と祈り | 開会の言葉 (1 分) **長谷川瑛一 | 田中克彦**

神の言葉の宝

1. 幸福で健康な生活を送る (10 分) **大谷正**

可能なときには、日の光に当たって新鮮な空気を吸う。(伝 11:7, 8。目 15/3 13 ページ 6-7 節)
心と体の健康に気を配る。(伝 11:10。塔研 23.02 21 ページ 6-7 節)
一番大切なのは、心を込めてエホバを崇拝すること。(伝 12:13。塔研 24.09 2 ページ 2-3 節)



2. 宝石を探し出す (10 分) **竹林直毅**

[伝 12:9, 10](#) 招集者は賢くなっただけでなく、知っていることをいつも人々に教えた。また、多くの格言をまとめる(*順序よく並べる)ために、思い巡らし、徹底的に調査した。10 招集者は、喜ばれる言葉を探し、真実を正確に記録しようと努めた。

神に用いられて聖書を書いた人たちについて、この聖句から何を学べるか。(洞「靈感」11 節)

しかし、証拠が示すところによると、聖書を書き記すよう神に用いられた人たちは、口述された事柄をそのまま記録する単なるロボットではありませんでした。使徒ヨハネに関しては、「神が息を吹き込んだ」啓示がみ使いを通して「しるしにより」ヨハネに示され、次いでヨハネが「神の語られた言葉と、イエス・キリストの行なった証し、すなわち自分の見たことすべてについて証しした」と記されています。(啓 1:1, 2) ヨハネは「靈感によって[字義, 「霊において」]主の日に来て」いました。そして、「あなたが見ることを巻き物に書(く)」ようにと告げられました。(啓 1:10, 11) ですから神は、聖書筆者が自分の見た幻を描くための言葉や表現を自分の知力を用いて選択することをよしとされ(ハバ 2:2)、その一方で、最終的に出来上がるものが正確かつ真実なものとなると同時に、エホバの目的にかなったものともなるよう、筆者たちを常に十分制御し、導かれたようです。(箴 30:5, 6) 筆者の側の個人的な努力が関係していたことは、『喜ばれる言葉を探し、真実を正確に記録しようと努めた』を適切に示すため、熟考、調査、まとめる仕事などがあつたと述べる伝道の書 12 章 9, 10 節の言葉に示されている—ルカ 1:1-4 比較(聖書が確かに神の著作で、聖書を読み学ぶ人に喜びを与える類まれな書物であることを確信できる。人々の心を柔らかくするためにも、野外でできるだけエホバの言葉を用いていきたい。)

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。11:4で物事の大変さばかり見て行うことをためらうことがないように教えてくれると同時に、11:6では勤勉に良い習慣を保つことの大切さも教えてくれる。特に野外宣教で、見える成果に拘らず業を続けること、またそのために楽しむ習慣を見出すよう努めて、一人一人できることは限られていても是非喜びの人生を経験していきたい。

3. 聖書朗読 (4分) 伝 12:1-14 (教励 第12課) 星拓哉

野外奉仕に励む

4. 再び話し合う 福永和子 愛込 8-3 奥村由美

(3分) 家から家で。 ([愛込 レッスン8 ポイント3](#))

5. 再び話し合う 石原里佳 愛込 9-3 吉田明美

(4分) 日常生活で。前回、大切な人を亡くしたばかりだと言っていた人と会話する。 ([愛込 レッスン9 ポイント3](#))

6. 話 阿部直生

(5分) [愛込 付録A ポイント13](#) 主題: 神は私たちのことを助けたいと思っている (教励 第20課)

クリスチャンとして生活する

[111 番の歌](#)

7. 会衆の必要 (15分) 大谷優志

8. 会衆の聖書研究 (30分) 大 レッスン 30-31 吉田忍 朗読: 長谷川貴史

閉会の言葉 (3分) | [8 番の歌](#)と祈り 滝秀貞

^ ([伝 11:1-12:14](#)) あなたのパンを水の上に投げ*なさい。月日がたてば、あなたはそれを再び得ることになる。2 持ち物を7人に、いや、8人にでも分けてあげなさい。あなたは、地上でどんな災難が起きるかを知らないからだ。3 雲は水分で満ちると、雨を地上に降らせる。木が南に、あるいは北に倒れるとしても、木があるのはその倒れた方向である。4 風を見守っている者は種をまかない。雲を眺めている者は刈り取らない。5 あなたは、妊婦の腹の中で胎児の骨に生命力*がどのように働くのかを知らない。同じように、あなたは真の神の行いを知らない。神は何でも行うことができる。6 朝に種をまき、夕方になるまで手を休めてはならない。あなたは、どの種が育つか、これかそれか、あるいは両方なのかを知らないからだ。7 光は心地よい。日の光を見るのは目にとって良いことだ。8 もし長生きできるのであれば、それらの年月を楽しみなさい。しかし、闇の日々が多くなることを忘れてはならない。やって来るその日々は全てむなしい。9 若い人たち、若いうちに喜びなさい。若い間にあなたの心が喜びで満ちていてほしい。心が促す道を進み、目が導く場所に行きなさい。しかし、全てのことにに関して、真の神があなたに責任を問う*ことを覚えておきなさい。10 悩みのもとを心の中から除き去り、有害な事柄を体から払いのけなさい。若さも青春もむなしいものである。